

# 本町まちづくり懇談会ニューズレター

## ◆第3回本町地域づくり懇談会を開催しました。(平成 30 年 8 月 21 日)

平成 30 年代前半の完成を目標としている国道 294 号バイパスにより、本町地区ではまちづくりを取り巻く環境が変化します。このような状況の変化に対応し、賑わい創出に向けて様々な課題を解決していく必要があります。

第 3 回の懇談会では、「歴史・文化を活かした街道沿いの街並み」の視察会（第 2 回懇談会）の結果を踏まえ、目標とする街の姿のイメージを共有するとともに、「沿道でできる（できそうな）取組み」について意見交換を行いました。

### ▼ 地区の将来像に対する意見（第 1 回懇談会）

- ① 若者を中心に、みんなが住みたくなるようなオシャレな街
- ② 人と人のコミュニケーションが取れるような関係がある街
- ③ 人が歩きやすい街（地元の人にとっても、観光客にとっても）



## ◆第3回懇談会における本町地区の将来イメージ

地区の将来像を継続的にみんなで考え、共有していこう！

国道 294 号（現道）沿道は、商店街として継続できれば良い！

買物をしながら、休憩ができるスペースがあると外出し易い！

通りの両側を見て歩けるよう、車線幅が狭いイメージ！

若い人が興味を持つ魅力があれば、居住者も買物客も増える！

「歴史的な街並み」が良いが、若い人達も望んでいるのか？

世代間で、理想とする将来の姿は異なるかも知れない！



# ◆沿道側でできる(できそうな)取組みは？

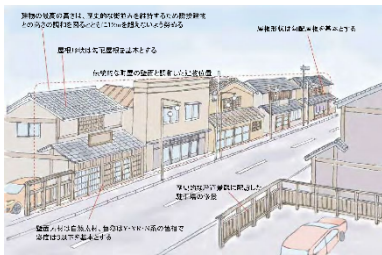
## 取組みの内容

沿道景観に関する取組み

- ◆奥州白河宿公園（本町集会所横）に、プランターを配置して花を飾りたい
- ◆過去に実施した、軒先にプランターを配置して花を飾ったことは、良い取組みだった
- ◆他地区では谷津田川や阿武隈川の清掃を実施しており、本町地区でも実施できるはず！
- ◆建物修繕時に格子戸を付けるなど、少しの工夫で良いので、落ち着いた・風情のある街並みの形成を進めていきたい
- ◆シャッターにテーマ性を持たせた絵を、統一して描いたらどうか。絵を描く際、若い人達との関係性を持たせると面白い取組みになるかもしれない



【協働での花づくり (イメージ)】



【旧奥州街道沿いの景観形成方針】



【シャッターに絵を描く (イメージ)】

出典：景観形成ガイドライン（白河市）

沿道でのサービスに関する取組み

- ◆各商店街で、お土産が購入できるような店舗・スペースがあれば良い
- ◆空き店舗の持ち主は、何かをやりたいという若者に対し、店舗部分を貸出しても良いではないか
- ◆行政の力を借りながら、1つの目玉をつくり、集客を図ることで発展に繋がれば良い

その他

- ◆無電柱化は賛成。先達提灯の妙技は、無電柱化されても可能
- ◆街づくりは「他力本願」では駄目である。自分達がここで商売をできるのか、生活していけるのかを考えていくべき
- ◆生活利便は高い地区のため、敷地の奥行きを新たな住空間として活用できれば、居住者も増えるのではないか
- ◆車で移動される方が多く、商売をしていく上で駐車場の確保が課題



次回の懇談会は、  
9月27日（木）に  
開催します！



【このニュースに関するお問い合わせはこちらへお願いします】  
 福島県県南建設事務所 企画管理部 企画調査課 (TEL : 0248-23-1617)  
 白河市役所 建設部 まちづくり推進課 (TEL : 0248-22-1111)

